

『日本學刊』第29号（2026年刊行）投稿規定

『日本學刊』は香港に根付いた学術誌として、日本に関わる研究者、教師、学生が教育・文化・社会・経済・政治など多岐にわたる分野において学術的交流をできる場となることを目指しております。同時に、日本語教育、日本研究の理論を切り開く、意欲的な論文を期待しております。会員の皆様や大学院生・学生の投稿を歓迎致します。

1 投稿原稿の種類と内容：

- (1) 論文： ①先行文献を踏まえているか、②新しい見解を提示しているか、③文章が論理的か、④構成が整っているか、⑤日本学刊の読者に相応しいか、の基準を満たし、且つ学術的な内容のもの
- (2) 研究ノート： 上記の論文の基準を全ては満たさないが、萌芽的研究を含めて将来の研究の基礎となる、あるいは優れた研究に発展・拡大する可能性のある内容のもの
- (3) 実践報告： 実践例の報告が明確な根拠及び主旨に基づいて述べられているもの
- (4) 報告： 当該分野において今後の研究及び教育活動に資する内容の調査結果に基づいて述べられているもの
- (5) 研究報告： 大学院生、研究生による日本語教育・日本研究に関する研究報告など
- (6) 評論・書評： 本人以外によって書かれた著作の評論・書評

2 使用言語：日本語、中国語、英語のいずれか

3 締め切り：2025年10月31日（必着）、2026年6月刊行

4 応募資格：単独執筆者の場合は香港日本語教育研究会の会員であること。共同執筆者の場合は全員が会員であること。

5 投稿原稿の採否：すべての投稿作品は2名以上の査読者が審査する。採否は編集委員会が最終決定を下す。2026の4月末までには必ず決定の連絡をします

6 投稿宛先：香港日本語教育研究会事務局宛（Email:gakkan@japanese-edu.org.hk）

7 書式：A4版横書き Word 原稿、37字×32行×15枚以内、本文の文字サイズは10.5ポイント。当会ホームページ <http://www.japanese-edu.org.hk/> の出版物の欄に掲載されている「投稿用紙」と「書式例」に従ってお書きください。注や参考文献の書式も「書式例」の論文に従ってお書きください。書式が異なる場合、掲載できない場合もありますのでご注意ください

8 原稿の構成：

- (1) 表題：使用言語に基づく（中国語論文、英語論文の場合、日本語訳をつける）
- (2) 著者名・所属、連絡先（住所、電子メール）を明記する
- (3) 使用言語を問わず、原稿の1頁目に、日本語による500字以内の要旨を必ず添付する
- (4) キーワード：要旨の下に使用言語による5個以内のキーワードを必ず記入する。使用言語を問わず、キーワードの日本語訳を入れること

9 提出方式：投稿用紙と記名原稿一部、無記名原稿一部を電子メール（Email:gakkan@japanese-edu.org.hk）まで提出ください

10 採用された論文は後日香港日本語教育研究会のホームページに掲載する予定である。ホームページに掲載することを希望しない投稿者は投稿用紙に「ホームページの掲載を希望しない」と明記すること